

法人理念	※キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にする。 ※保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。 ※職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るため、より一層専門性を高め技術向上に努める。						
営業時間	8時45分～17時	療育日時	毎週金曜日・15時～16時45分	送迎	無	おやつ	手作りおやつ有
支援方針	テーマ「期待」を通して「時間の経過」に発達を促す 写真で1年間を振り返ることで自分の成長に気付けるようにします。また、小学生になるにあたって期待を持てるように、小学生に質問したり一緒に遊んだりする機会を設けます。 横断歩道を一人で渡ったり、お買い物に一人で行ったりしながら就学に向けて自信を持てるようにします。						

項目	支援内容
本人支援	健康・生活 上着、ジャケットなどのボタンやファスナーをとめる 様々な種類のボタンやファスナー、靴ひものちょうちょ結びなどを練習し、上着やジャケットを一人で着られるようになる
	運動・感覚 2つ以上の動作ががある活動をする 風船バレーを行い、一緒に取り組む友だちを意識して取り組む。また「一人が連続で触らない」「10回ラリーをする」などのルールを守りながら取り組む。
	認知・行動 視覚、聴覚の短期記憶・長期記憶の向上 ・「〇〇ください」「いくらですか」など、どんな言葉を言うかを覚えてドーナツ屋さんに一人で買い物へ行く ・1年間の写真を見ながら自分たちの活動について振り返る。また、季節ごとに分けながら時間の流れを感じる。
	言語 コミュニケーション 小学校への期待を話し合う 実際に学童保育の小学生に聞きたいことを考え質問し、小学校への期待や不安をみんなで話し合う。
人間関係 社会性 外出先でのルールがわかり行動できる ・交通ルールをあらかじめもう1度確認し、一人で横断歩道を渡る練習をする。 ・ドーナツを買いに行く際に、挨拶やお金のやりとりを通して店員さんと応答的なやり取りを行う。	
歌・絵本など	歌 ひなまつりのうた 絵本 ぐりとぐらのいちねんかん どんぐりむらのいちねんかん おおきくなるっていうことは
地域支援・地域連携 (地域交流・園外活動)	学童保育の小学生との交流
移行支援	就学先へ情報提供 希望の場合、保育所等訪問支援事業への移行ができます。
家族支援	保護者懇談 3月6日
職員の質の向上	大阪市社会福祉研修「吃音(どもった話し方)のあるこどもへの正しい理解と将来を見据えた支援」
主な行事等	モニタリングによる個別面談 療育終了式 3月27日 16時30分から 保護者の方もよければお越しください